

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
鳥取市	鳥取市青谷地域 (通称名：五本松)	令和3年3月29日	年 月 日

1 対象地区の現状

① 地区内の耕地面積	11.0 ha
② アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	11.0 ha
③ 地区内における48才以上の農業者の耕作面積の合計	11.0 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	8.4 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0 ha
④ 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

- 山間地のため、積雪が多くなると作業が進まない。ふるさと農道の市の除雪は年1回だけで、2回以上必要となった場合、生産者だけの負担では賄いきれない。作業が、全て遅れる。
- 高齢化や後継者不足が原因となり、ソーラー施設が五本松にも入ってしまった。このことが常習とならないためにも選択肢としてはならないことを全員が意識する。
- イノシシ被害が多くなり、電気柵では対応が難しくなっている。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

高齢化が進み後継者不足となっても、今以上の面積を耕作することは不可能であるが、今後の農地保全のためにも認定新規就農者の受入や先進農家として受入れを促進することにより対応する。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

農地の貸付等の意向

貸付け等の意向が確認された農地は、3筆、33, 272㎡となっているが、5年後或いは10年後に無償又は有償譲渡してもよいと思っている。

水利施設整備への取組方針

農業の生産効率の向上や五本松団地の農地保全を図るため、水利施設整備に取り組み美味しい梨づくりを今後も続ける。

新規・特産化作物の生産方針

日本梨以外に、五本松地区を中心に新規作物「栗」の栽培に取り組んでおり、少しでもバランスのよい生産、販売に向けて栗生産に取り組む。

鳥獣被害防止対策の取組方針

被害防止のため電気柵を設置していたが、侵入を防ぐことが出来ていないため、侵入防止柵を設置し今まで以上の被害防止に努める。

災害対策への取組方針

台風や雪害による被害防止のため、多面的機能支払交付金を活用し、農道に生える雑木の枝打ちをするなど引き続き対策を行う。